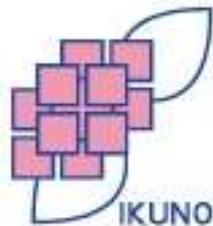


令和元年度生野区の取組み 振り返りについて (まちの未来部会：抜粋分)

令和2年度 生野区区政会議
第1回まちの未来部会



令和2年8月6日(木)



目次

・ 令和元年度 主な取組（まちの未来部会関連）	3
【取組実績】	
・ （１－１）ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援	4
・ （１－２）空き家の利活用による新たな魅力づくり	8
・ （２－１）「生野の魅力」の発掘・浸透	10
・ （２－２）区民のわがまち意識を育てる	12
・ （３－１）地域活動協議会（まち協）の支援について	14
・ （３－２）地域活動協議会（まち協）の自律運営促進について	16
・ 目標の達成状況	18
・ 目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括	19



令和元年度
主な取組

地域資源から魅力資源へ

ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために
空き家の利活用による新たな魅力づくり

生野区シティプロモーション

「生野の魅力」の発掘・浸透
区民のわがまち意識を育てる

地域社会における住民自治の拡充

地域活動協議会への支援 等

● 「ものづくり百景」の追加（23社）

追加したものづくり百景(抜粋)



- ものづくり教室の開催（7月30日 37名）
- 芸術文化に親しむワークショップ
「いくのものづくりものがたり第2章」の開催（7回 77名）
- 見学ツアーの実施（1回 25名） など



芸術文化に親しむワークショップ



小学生ものづくり教室

【令和元年度業績目標】

- ・見学会などへの参加者数

目標:100人以上 ⇒ 実績:739人

- ・区HPのものづくりページのビュー数

目標:2,400 ⇒ 実績:2,649

目標達成



芸術文化に親しむワークショップ参加者アンケートより

- ・ワークショップだけでなく写真、SNSで知らないことを学べてよかった。また機会があれば参加したい。
- ・子どもが伝統工芸に触れる機会を与えてもらって感謝。今後生野の工場見学もしてもらえたらより深く知ることができると思った。

(1-2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

◆取組実績

- ・ 空き家カフェ拡大版：1回（参加者41名）
- ・ 地域が主体となった空家対策会議（空き家カフェ）への参加：6回
- ・ 空き家利活用事例紹介：12回



空き家カフェ拡大版



空き家利活用事例紹介

【令和元年度業績目標】

- ・空き家利活用に関する取り組みが進んでいると感じる区民の割合

目標:30% ⇒ 実績:33.4%

目標達成



空き家カフェ拡大版参加者アンケートより

- ・新しい取組みに夢を感じます。これからも機会があれば参加させていただきたいと思います。
- ・すべてお話を興味深くお聞きしました。この様な試みはとてもいいと思いました。
- ・空家について、様々なアプローチや事例を聞いて、空家を今後活用していくためのヒントや思いを得ることができた。生野区も今後も良くするために微力ながら取り組みたい。

(2-1) 「生野の魅力」の発掘・浸透

◆取組実績

- ・テーマ設定した広報紙特集記事作成：年12回
- ・ブログ発信数37件
- ・広報紙、ブログ、ツイッターなど各媒体へ連携強化
 - 空き家リノベーション事例紹介：いくのdeリノベ
 - 区内で暮らす外国人紹介：IKUNO×グローバル
 - ものづくり企業紹介：ピックアップものづくり百景
- ・プレスリリース：29件
- ・官民連携サイト「いくのぐらし」での行政発信：38件

「顔が見える」
広報



【令和元年度業績目標】

- ・年間ブログビュー数

目標：18,000件 ⇒ 実績：24,178件

- ・プレス情報がメディアで取り上げられた件数

目標：12件以上 ⇒ 実績：20件

目標達成



広報紙を読んだ区民より

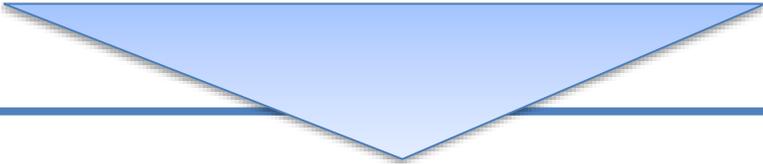
- ・まちの人の顔がみえる紙面になった
- ・特集記事が分かりやすい
- ・読み物として毎月楽しみ
- ・読みやすく読む気になった

(2-2) 区民のわがまち意識を育てる

◆取組実績

- ・ 生野区持続可能なまちづくり事業認定団体の事業に対する広報支援
- ・ マスコットキャラクター「いくみん」ラインスタンプ販売
- ・ 区民まつりで「やさしい日本語ブース」を地域企業、地域団体、区が共同運営
- ・ 区民による多文化共生のまちづくりシンポジウム等開催支援（6・11・12月）
- ・ 銭湯で防犯標語を使った啓発事業「いくのの日（19日）」はお風呂に行こう実施
- ・ Twitterによる英語での銭湯情報発信「How to enjoy SENTO!」実施





【令和元年度業績目標】

- ・ 生野区を盛り上げるさまざまな取組みが各地域で行われていることを知っている区民の割合

目標：60% ⇒ 実績：39.8%

目標未達成

◆要因分析と課題

- ・ 若年層及び居住年数が短いと上記指標割合が低いため、その対象へ向けた戦略的プロモーションを実施する必要がある

◆今後の方向性

- ・ 若年層及び居住年数が短い区民の上記指標割合を、より高めるため引き続き広報紙（紙媒体）での情報発信に加え、SNS等を駆使した戦略的プロモーションを実施し、情報発信を引き続き行う。

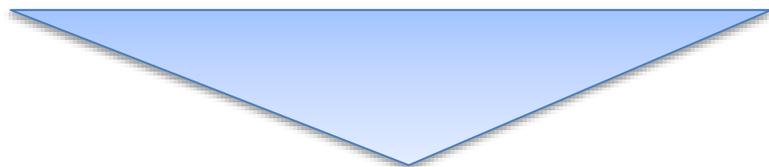
(3-1) 地域活動協議会（まち協）の支援

◆取組実績

●地域活動協議会への財政的支援 31,413千円（19地域）



地域住民の交流事業



【令和元年度業績目標】

- ・ 地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援をうけることができていると感じた区民の割合

目標：83%以上 ⇒ 実績：84.4%

目標達成

(3-2) 地域活動協議会（まち協）の自律運営促進

◆取組実績

民間事業者の柔軟な立場やノウハウを活かせる中間支援組織を活用して、地域まちづくり協議会の自主自律的な地域運営に向け支援を実施

- ・ 多様な地域活動との連携・協働に向けたネットワークづくりへの支援
- ・ 幅広い主体の発掘や新たな担い手の育成に向けた支援
- ・ 次世代につなげる地域活性化に向けた取り組みへの支援 など



新たな担い手づくりへの取組み まちカフェ



連続テーマミーティングの開催

【令和元年度業績目標】

- ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合

目標：78%以上 ⇒ 実績：78.8%

目標達成



まち協 連続テーマミーティング
参加者アンケートより

- ・他地域での活動について話を聞いて良かったです。
- ・若い人がやりたい事がやれる場所が地域にあれば、自ずと人が集まってくる気がしました。
- ・人の繋がりが大切と感じました。

令和元年度 具体的取組の目標達成状況 (まちの未来部会関連)

具体的な取組	目標達成状況
ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援	達成
空き家の利活用による新たな魅力づくり	達成
「生野の魅力」の発掘・浸透	達成
地域活動協議会（まち協）の支援	達成
区民のわがまち意識を育てる	未達成
地域活動協議会（まち協）の支援	達成
地域活動協議会（まち協）の自律運営促進	達成

目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括

まちの未来部会関連

- ・ 区の魅力あるまちづくりめざすためには、人口減少に歯止めをかけ、生野区が持続可能なまちとなるよう、主に若年・子育て層の移住・定住の促進や子育て層や若年層等、ターゲットごとに向けた情報の発信を継続的に実施するなど、効果的なプロモーションを行う必要がある。
- ・ そのためにも、生野区が有する魅力的な地域資源（ものづくりのまち、空き家活用等）をより一層その魅力を高めるよう、広報紙やブログ、ツイッター等、各種広報媒体の特性を活かすとともに、官民連携によるプロモーション（情報発信等）を実施し、区の内外に効果的にまちの魅力を発信することで、区の魅力あるまちづくりにつなげていく。

